

# FLS大腿骨近位部骨折パス 入院診療計画書




OSY113

患者ID  
患者氏名  
生年月日:  
病棟(病室)

主治医  
担当医  
看護師  
薬剤師

病名  
管理栄養士  
特別な栄養管理の必要性  
有 無

説明日  
症状 事前検査による異常所見  
患部の自覚症状  
(疼痛 歩行困難 )

月日	入院日 ~ / ~	前日 /
患者目標	不安なく手術を受けることができる	
治療 処置 注射 (内服)	現在使用している薬をすべて確認します(現在中止している薬も含む) 入院中に使用する薬について説明します アレルギーの有無等を確認します 	
検査	必要に応じて行います	
食事	常食(必要に応じて治療食)です	手術前日21時以降は食事を摂取することができません 水分(水・お茶のみ)は決められた時間と量で摂取することができます
排泄	尿の管を入れます 排便はベッド上で行います	
清潔	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)	手術日までにシャワー浴をします 
活動 (安静度)	制限はありませんが、病棟を離れる際は、スタッフに声をかけてください	
説明 (指導)	入院生活や手術について説明します 義歯・補聴器があるかを確認します ネームバンドを装着します 弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を着用します ※入院中に口腔外科の診察があります ※入院中に服用する薬剤の説明と栄養相談があります 	手術室看護師の訪問があります 麻酔科医師から麻酔について説明があります(全身麻酔の場合)
その他		

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

上記のとおり説明を受けました 年 月 日

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

説明を受けた人: 続柄

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。



(本人・家族) ( )

整形外科パス:

患者氏名

(性別)

患者ID

月日	手術前		手術後	
	/			
患者目標	不安なく手術を受けることができる		手術後合併症を起こさない	
治療 処置 注射 (内服)	朝の薬は 時 分に( )を 少量の水で内服します 9時頃に点滴をします (9時30分手術予定の場合は手術室で点滴をします)		手術後合併症を起こさない 自動血圧計、心電図モニターを装着します 酸素を開始し、足にはフットポンプを装着します (装着時間は状態によって変わります) 痛み止めの薬が処方されます	
検査			血液検査をします 	
食事	食事・水分を摂取することはできません		手術4時間後に、お腹の動きが確認できたら、食事・飲水が可能となります(その際はお知らせします)	
排泄	尿の管が入っています 排便はベッド上で行います		翌朝まで手術着のまま観察していきます	
清潔	タオルで体を拭くことができます (必要な場合はお手伝いをします)			
活動 (安静度)	病室内でお過ごしください 手術室へ移動します(状態によって車椅子やベッドで移動します)		翌朝まではベッド上で安静となります	
説明 (指導)	手術開始予定時刻は 時 分です 手術着に着替えます 装身具(眼鏡・時計・義歯・指輪等)を外します ご家族の方は病棟の食堂にてお待ちください (離れる時はスタッフに声をかけてください)		痛みが強い時や、気持ちが悪い時など、異常を感じた時は、すぐにお知らせください 	
その他				

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。




※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

整形外科パス:

患者氏名 (性別) 患者ID

月日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後7日目	
患者目標	手術後合併症を起こさない		痛みをコントロールしながら動くことができる		
治療 処置 注射 (内服)	点滴をします(状態によって変更があります) 必要時、手術部位の処置をします ※手術部位の状態をみて保護材を貼ります(約2週間程度貼った状態です) 処方された痛み止めを内服します				
検査	血液検査をします レントゲン撮影をします 			血液検査をします レントゲン撮影をします 	
食事	常食(必要に応じて治療食)です				
排泄	状態により尿の管を抜きます 尿の管が抜けたらトイレを使用します 排便は、安静解除後からトイレでできます				
清潔	安静解除後に手術着から病衣に着替えます (看護師がお手伝いをします)	タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします) 保護材貼付後からシャワー浴ができます			
活動 (安静度)	医師の指示で安静解除となります リハビリ介入時に離床します (リハビリがない場合は医師と共に看護師が離床の介助をします)		医師の指示で弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を脱ぎます ※状態によっては日数の変動があります		
説明 (指導)	手術後の経過は人によって違いがあります 不安や疑問がある場合は主治医・看護師・薬剤師・理学療法士へ気軽にお尋ねください 尿の管を抜いた後は、排尿時の痛みや残尿感がありますが徐々に落ち着いてきます☑状態に応じて必要な対応をします)				
その他					

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。


注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

整形外科パス:

患者氏名

(性別)

患者ID

月日	術後14日目	術後21日目	退院日
患者目標	問題なくリハビリを行うことができる		
治療 処置 注射 (内服)	必要時、手術部位の処置をします 処方された痛み止めを内服します		退院時に処方がある場合は、薬剤師からお渡しします (不在の場合には看護師からお渡しする場合があります)
検査	血液検査をします レントゲン撮影をします		ネームバンドを外します 体温計を回収します
食事	常食(必要に応じて治療食)です		退院後の過ごし方、次回外来について説明をします 次回の外来予約票と診察券をお渡しします
排泄	状態により尿の管を抜きます 尿の管が抜けたら排尿もトイレを使用します		会計担当者が、お部屋へ伺います(開院日) 会計の説明を聞いてからの退院となります (状況によっては、多少お待ち頂く場合がございます)
清潔	タオルで体を拭くことができます(必要な場合はお手伝いをします) 保護材貼付後からシャワー浴ができます		
活動 (安静度)	医師の指示で弾性ストッキング(血栓を予防する靴下)を脱ぎます ※状態によっては日数の変動があります		※再骨折予防手帳は次回整形外科の外来受診時に持参してください
説明 (指導)	手術後の経過は人によって違いがあります 不安や疑問がある場合は主治医・看護師・薬剤師・理学療法士へ気軽にお尋ねください 尿の管を抜いた後は、排尿時の痛みや残尿感がありますが徐々に落ち着いてきます(状態に応じて必要な対応をします)		
その他			

※転倒転落・せん妄リスクが生じる場合は、適宜観察し、対応させていただきます。

※上記の内容は、状態によって変更する場合があります。変更の際はその都度お伝えします。

注1) 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わり得るものである。

注2) 入院期間については、現時点で予想されるものである。

整形外科パス: